



平成25年4月23日

各位

上場会社名 日本製罐株式会社
代表者 代表取締役社長 城座 隆夫
(コード: 5905、東証第二部)

問合せ先責任者 取締役経理部長 鈴木 泰夫
(TEL.048-665-1257)

平成25年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ

直近の業績動向を踏まえ、平成24年4月27日に公表した平成25年3月期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の通期業績予想の修正につきましてお知らせいたします。

1. 業績予想の修正

(1) 平成25年3月期通期業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,600	△ 145	△ 60	70	6.05
今回発表予想(B)	5,283	△ 205	△ 130	13	1.12
増減額(B-A)	△ 317	△ 60	△ 70	△ 57	
増減率(%)	△ 5.7	-	-	△ 81.4	
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	5,071	△ 649	△ 564	△ 622	△ 53.74

(2) 修正の理由

(売上高・営業利益・経常利益・当期純利益)

主力製品である180缶の売上予想では、東日本地区の需要回復を見込み、19.4%の増加としておりました。しかし需要回復の伸びが予想を下回ったことから9.3%の増加に留まりました。

一方、美術缶の売上予想では6.3%の減少を見込んでおりましたが、2.1%の減少となる見込みであります。

以上の要因から売上高は前年比4.2%の増加となりましたが、予想より5.7%減少する見込みとなりました。

損益面では売上高が予想を下回ったことに加え、電力・ガスといった公共料金の値上げに伴う製造経費増や人員削減に伴う最適生産体制の構築に時間を要したため、製造コスト削減が予想を下回り、営業利益、経常利益、純利益ともに予想を下回る見込みとなりました。

※ 上記業績予想につきましては、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以上